

機嫌の悪い母を
幸福にさせた息子



桃尻ハッスル堂

登場人物

息子：
春太郎(はるたろう)

母親が大好き。



母：今日子 40歳

このところ
ずっとイライラ
しっぱなし。
実は空手の
有段者。
人をぶん殴ると
落ち着く。



父：50歳

EDで全く勃たない。
嫌なことがあると
すぐに逃げる



はあ？
まだ出張の
延長？

あなたの
会社
ひどくない？

いつまで
出張
させられてるの？

これで
連続
3回よ

ほんととは
私のこと
さけて
会社に
お願い
してるんじや
ないの？

そそそ
そんな訳
ないだろ

早く
学校に
行く！

食べたら



はい

ガラッ

この数か月
母は
とても
機嫌が悪い



毎日毎日
たまらんなあ

以前はとても
優しい人
だったのに

今は
まともに話が
できる状態に
ない

少しでも
気に入らない
ことがあると

怒鳴られて
訳の分からない
説教をされる

地獄だ

たったっ



2日後

これ以上
母さんの
プレッシャーには
耐えられない
そこで

オロッ

一か八か
母さんの
機嫌を
直す方法

俺は
ある計画を
実行することに
した

それは
母さんの怒りを
ピークに
もっていく
ことだ

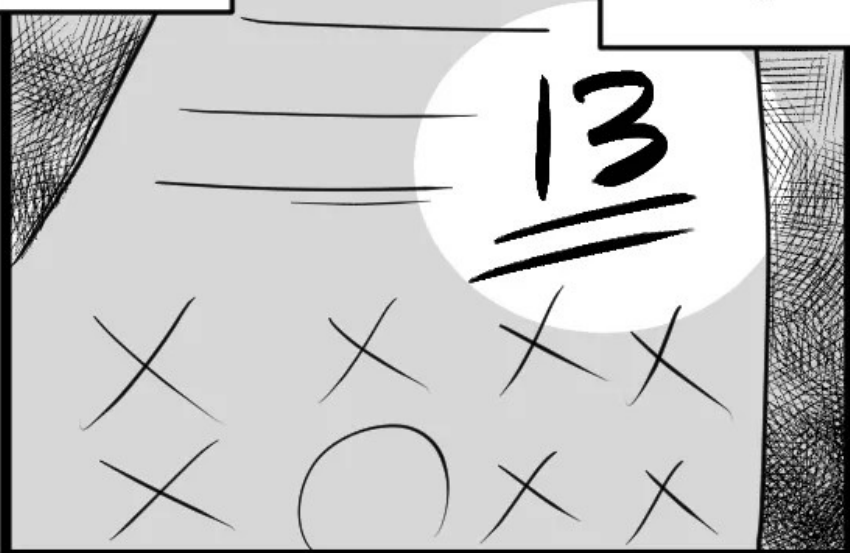


わざと間違えて
テストの点数を
ひどいものに
した

いつも悪いが
今回は
特にひどい

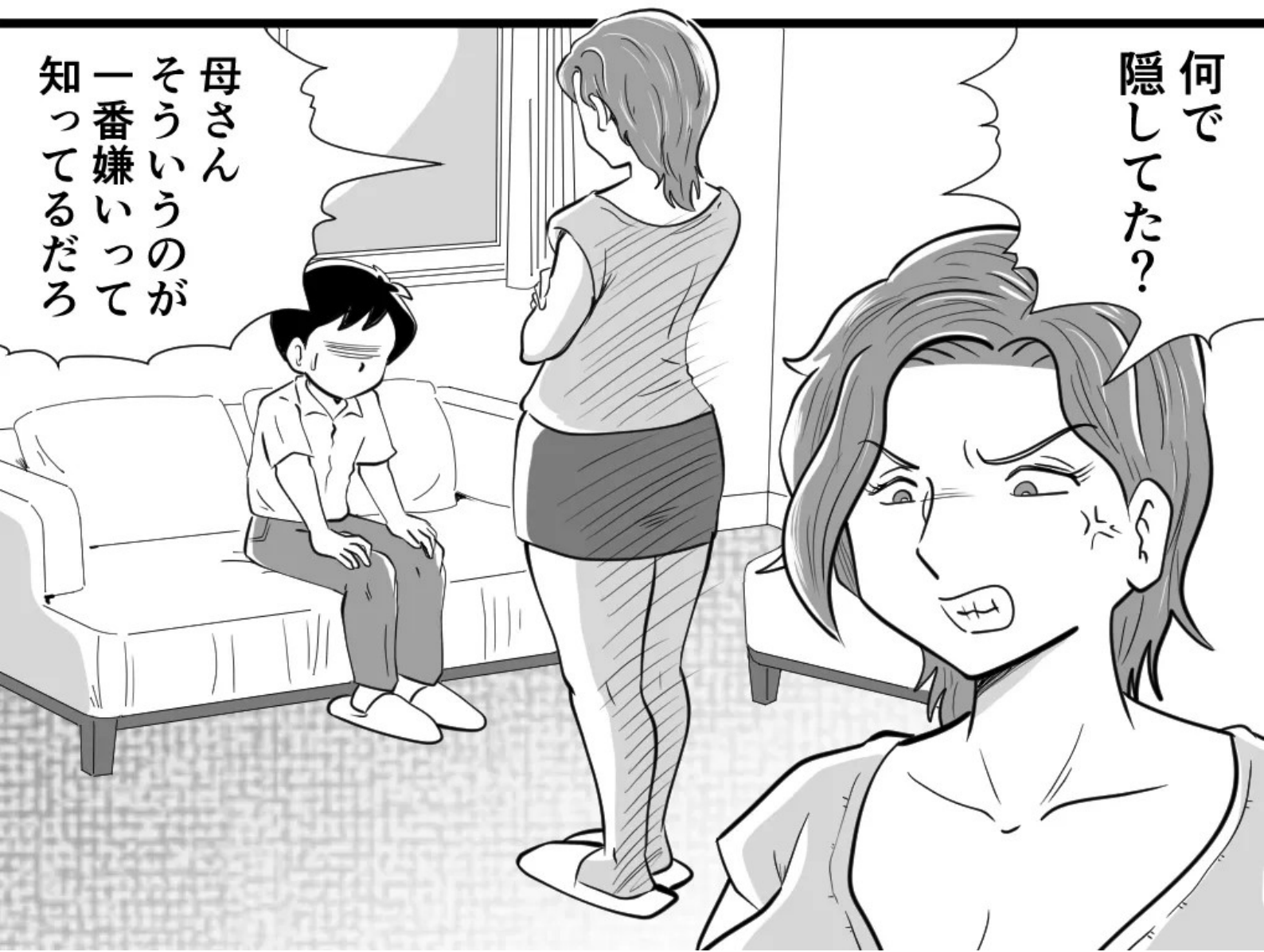
それを
すぐにバレる
場所に隠した

そしてすぐに
バレた



何で
隠してた？

母さん
そういうのが
一番嫌いって
知ってるだろ





そんなに
怒らないでよ

シワが
増えるよ

ソファに
座ってないで

立って
反省しなさい

へいへい

許して
くださしゃい

母さんを
完全に
キレさせる事に
成功した

ピキーン

実は過去
不機嫌な母さんを
わざとキレさせて
ビンタされた
ことがある

その時
すぐに母さんは
我に戻り
謝ってくれた

そして
平穏な日々
になった

しかし今回のキレ方は
その時のものと違う

俺も多少は
鍛えているので
耐える自信はあるが

殺気の
レベルが
違いすぎる

今回は
やばいかも

ぎゅっ

どくどく





とか
考えている
間に

パンチが
とんできた

空手をやっていた
母さんの
本気のパンチは
恐ろしい
威力だった

これだけで
意識が
もうろうと
なった

ゆらへっ

腹部への
膝蹴り

綺麗に
きまった

ぐえっ

息が
できない

今回の
怒りは
本物

予想以上
だ

と
思った矢先



ハイスピードの
アッパ―

まともに
入ってしまい

壁に頭を
打ち付けた

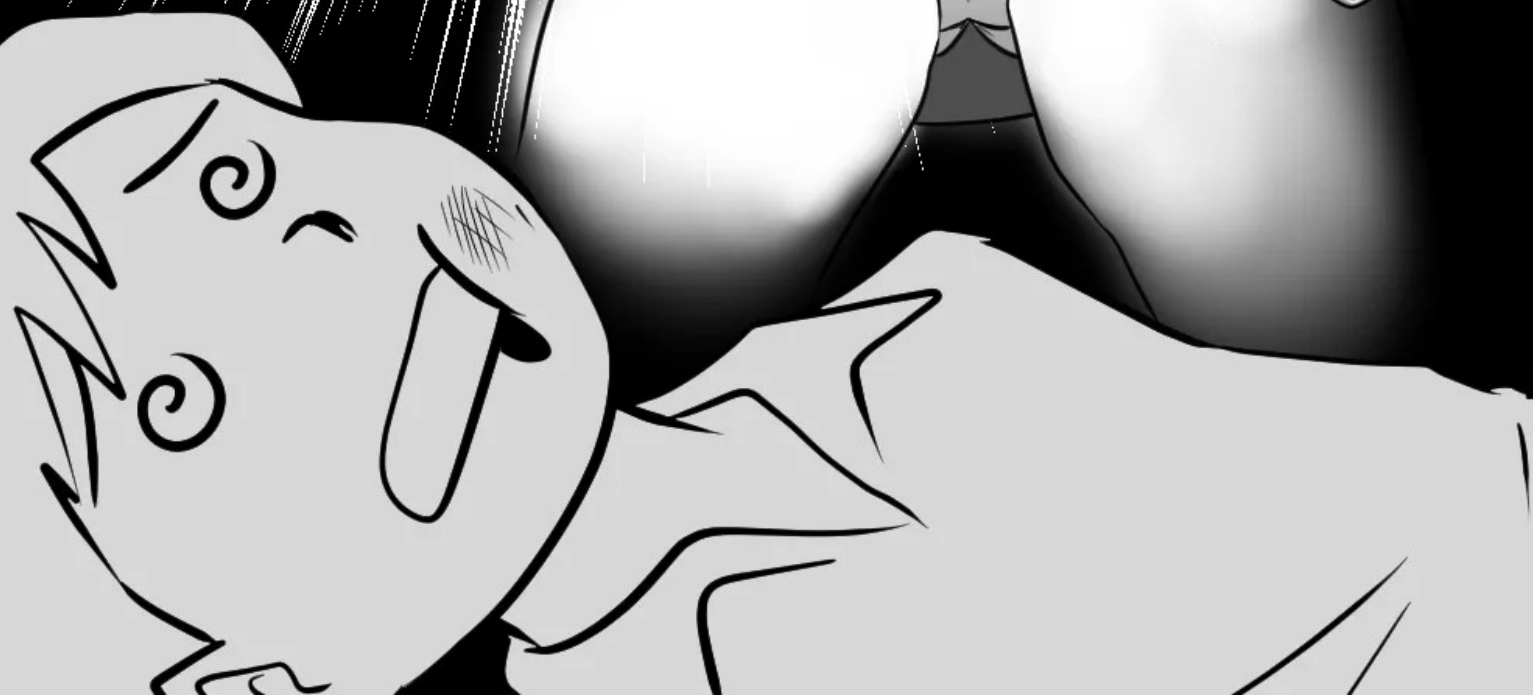
俺は
吹っ飛ばされて

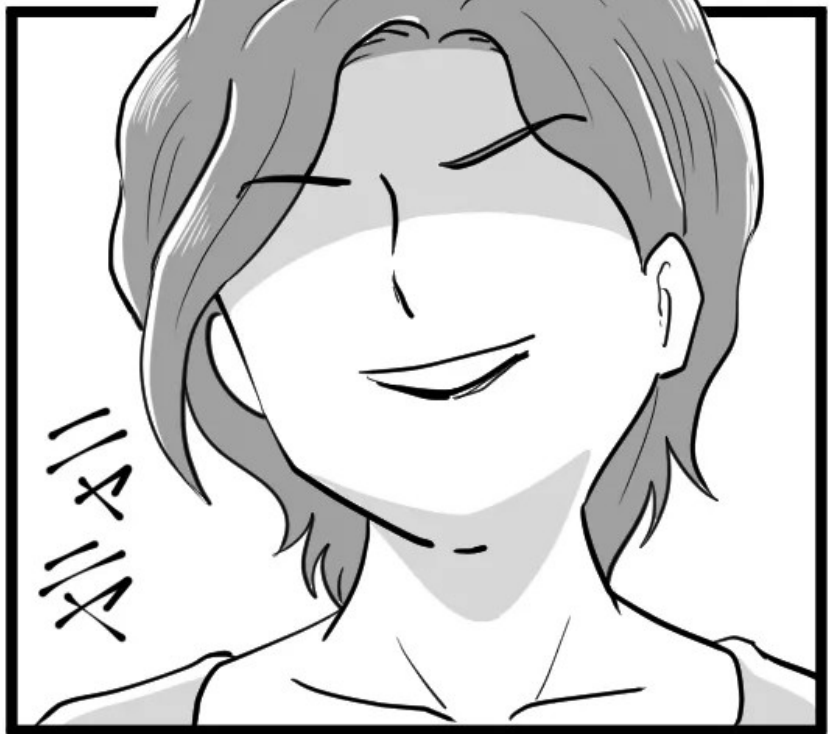
やっぱり
空手の
有段者は
凄い

そこには
勝ち誇った
女王様が
仁王立ちしていた

はあ
はあ
はあ
はあ

これまでの
イライラを
払拭できたかの
ようだった







春太郎
ごめん
ゆるして

死なないで
お願い

起きて！

ん？
あれ
ここは？

そうか
母さんの
アッパーが
まともに
入って
気絶したんだ
っけ

よかった
気がついた

ここは
母さんの
寝室か

さっきは
ごめんね

母さん
怒りにまかせて
身体が
動いちゃった

でも
春太郎は
私を正気に
戻すために
頑張って
くれたんだね

けど
ああいう
やり方は
もう
しないでね

あなたを
傷つけたく
ないから

うん
わかった
もうしない

でも
春太郎には
悪いけど

スツキリ
しちゃった♡

以前の
母さんだ

キラッ

いや
ここまで
爽やかで
綺麗な母さんは
初めて見た

すげー
痛かった
けど

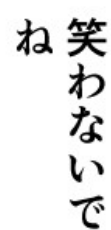
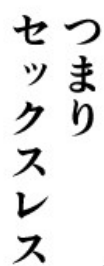
俺の好きな
母さんに
戻ってくれて
良かったよ

よし！
今なら
聞ける！

でき

母さんに
聞きたいことが
あるんだけど





私って
セックスが
とっても
好きなの

多分
依存症
なんだと
思う

ちゅ

ちゅんちゅんちゅん



私はある日
些細なことで
ひどいキレ方を
してしまった

その表情
やめてよ
まるで
私が
虐めてる
みたいじゃない

加齢臭
なんとか
してよ
臭いのよ

もっと
しゃきしゃき
歩きなさいよ
ジジイみたいよ

我慢してた
ものが
一気に
噴出して
止まらなく
なった

優しくて
思いやりのある
パパに
とんでも
ないことを
言っちゃった

でも

それを
きっかけに
何かあるたびに
パパに八つ当たり
が止まらなく
なっちゃて

自分でも
ビックリ

それから
自分の感情が
押えられなく
なったのよ



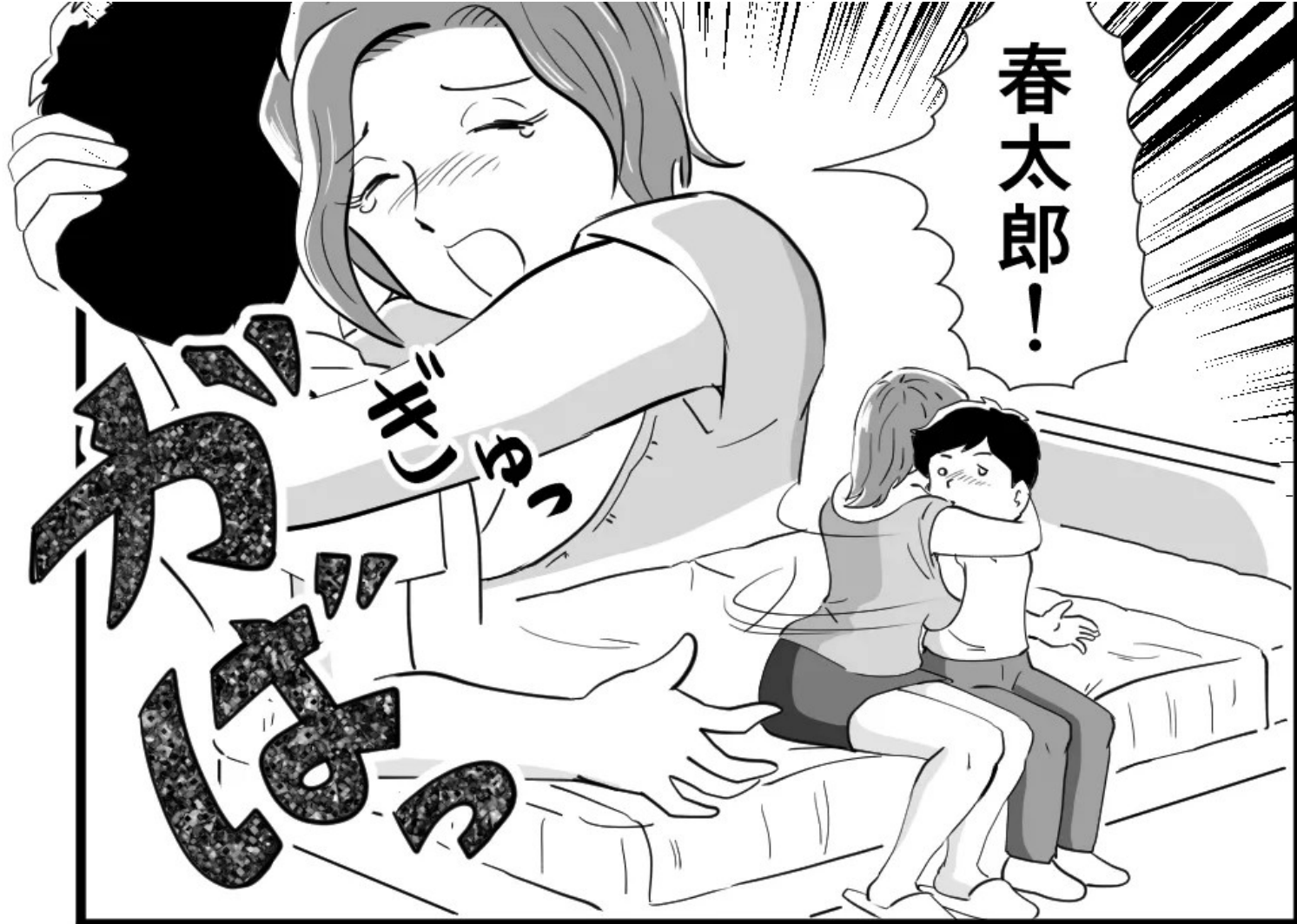
母さんが
泣いた

初めて
見た

えええ

えっ





母さんの目は
潤み
まわっていた

さっきさ
俺で
できることなら
何でもするって
言ったよね

じゃあ
私が何を
しても
怒らない？

キスを
された

んっ
♡

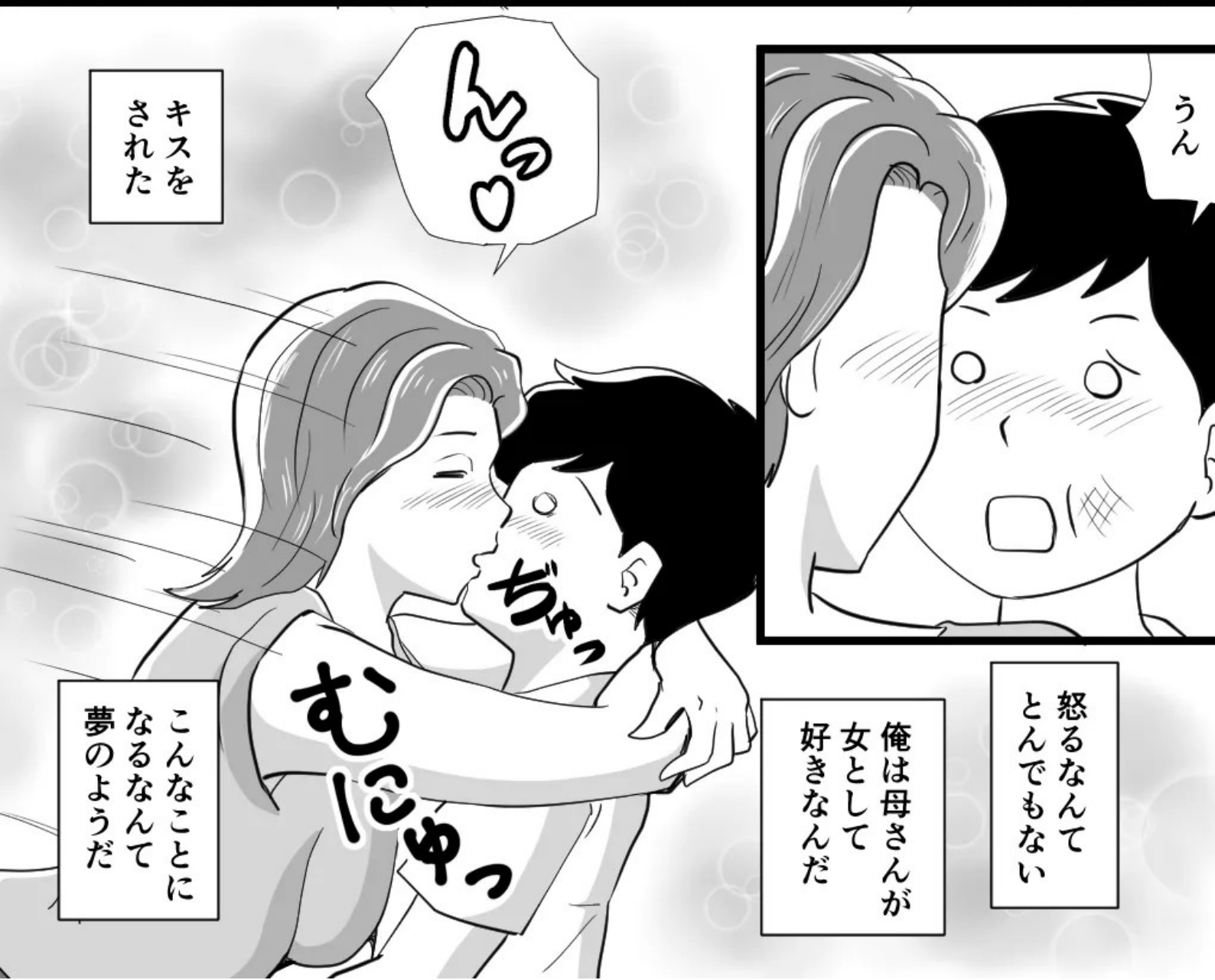
こんなことに
なるなんて
夢のようだ

むにゅっ
ちゅっ

俺は母さんが
女として
好きなんだ

怒るなんて
とんでもない

うん



心臓がバクバク
している

俺にとって
初めての
キスだ

経験したことが
ないぐらい
興奮している

母さんは
激しく舌を
からませて
きた



母さんと
見つめ合い





突然
母さんは
後ろに倒れた

どきどき

わかるでしょ
春太郎

わかるよね
春太郎

と
言ってる
ようだった

いや
絶対
言ってる



母さんを
失望させては
いけない

ここで
いけないと
男じゃ
ないよな

息子だけど



母さんが
自分で
服をずらし

胸を
出してくれた



なんと
いう
大きな
胸

乳首の
色も
きれい
だ

こんな
もん
いく
しか
ない
だろ
!

やる
ぞ
やっ
てや
る



乳首を舐め
さわると
母さんは
よがった

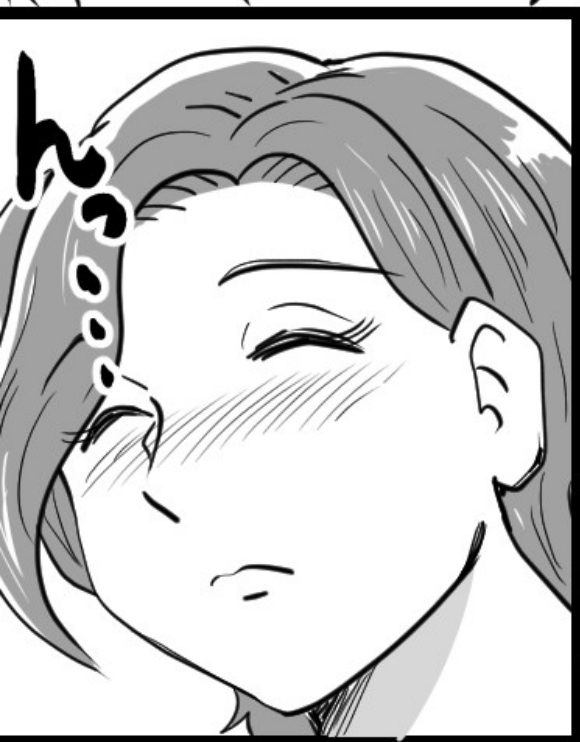
2人とも
息遣いが
激しくなった



そして
パンティを

す、

く、



おろした

する
する

初めて触る
女の股間

ちゃんと
割れている

そして
想像以上に
濡れている

はあ
はあ

はあ

ちゅぽ

ろろ

ぶる

ぬちゅ

ぐちゅ

ぐちゅ

ぬちゅ

ちゅちゅ

中指を
穴にいれ
ゆっくり
動かした

ぬちゅ

じゅぼ

たぶん

たぶん

たぶん

たぶん

はあ

んっ
はあ

はあ

ひだが
指に
絡みつ
いて
くる

きゅ

きゅん

ぬちゅ

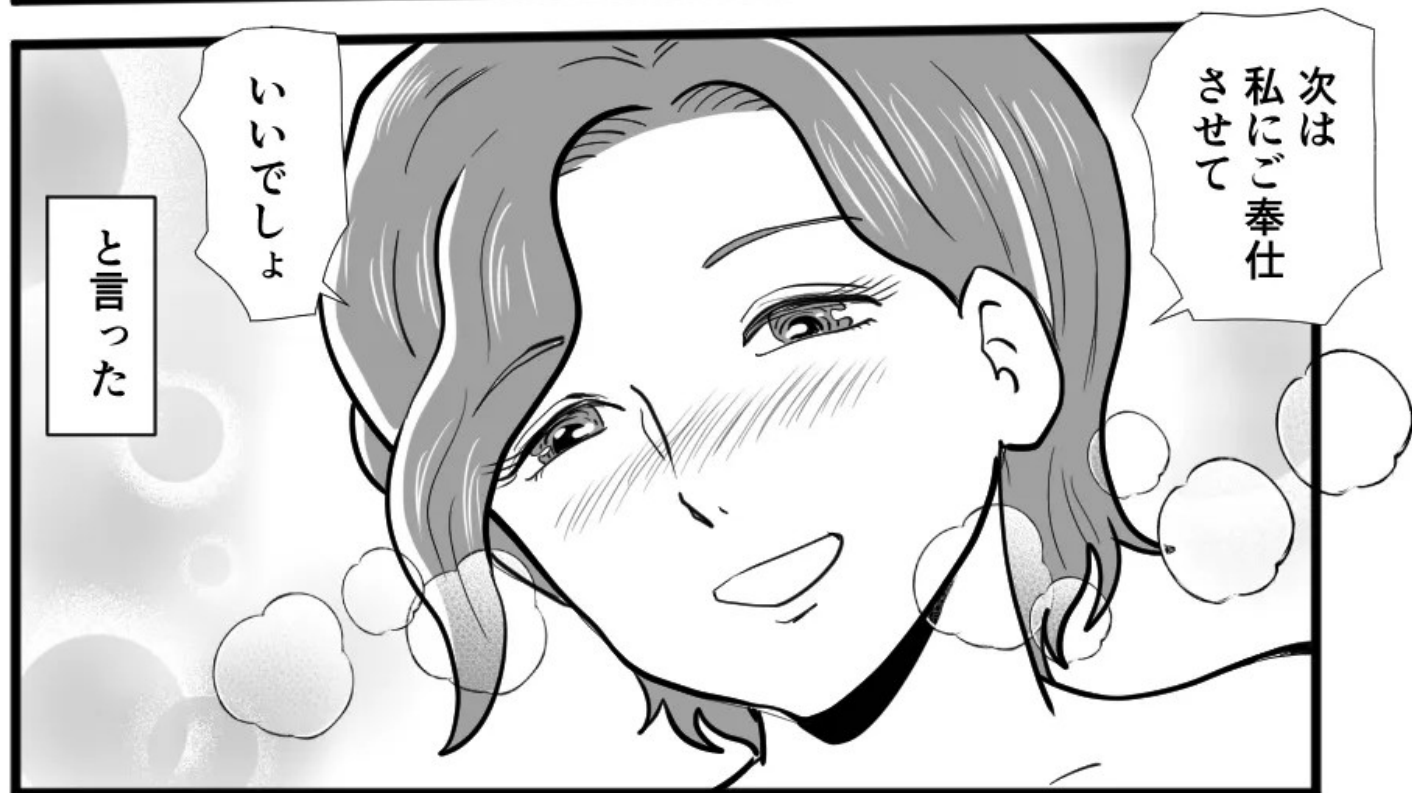
ぬちゅ

絶対
気持ち
いい
穴だ

こんな穴に
ちんぽ
いれたら
どうなるんだ



母さんは
起き上がり
ほほ笑みながら



次は
私にご奉仕
させて

いいでしょ

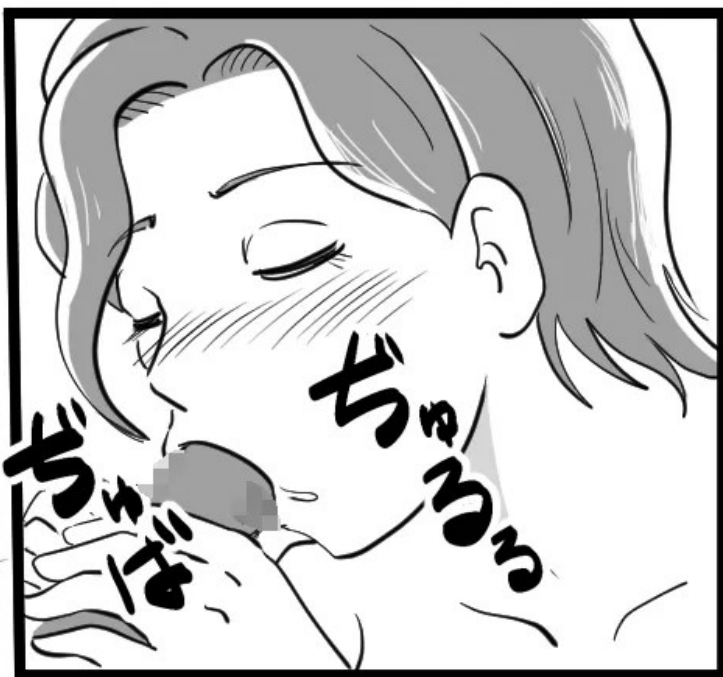
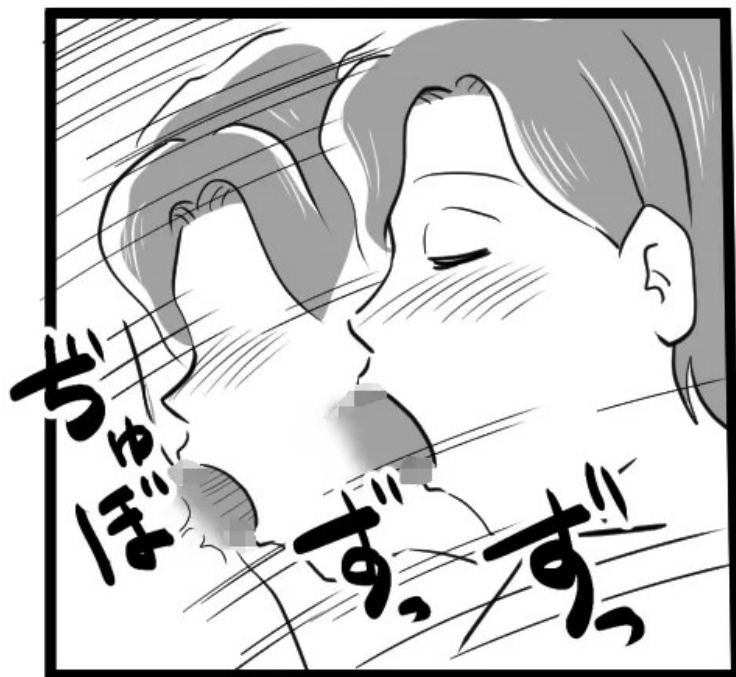
と言った

母さんが
俺のちんぽを
凝視している

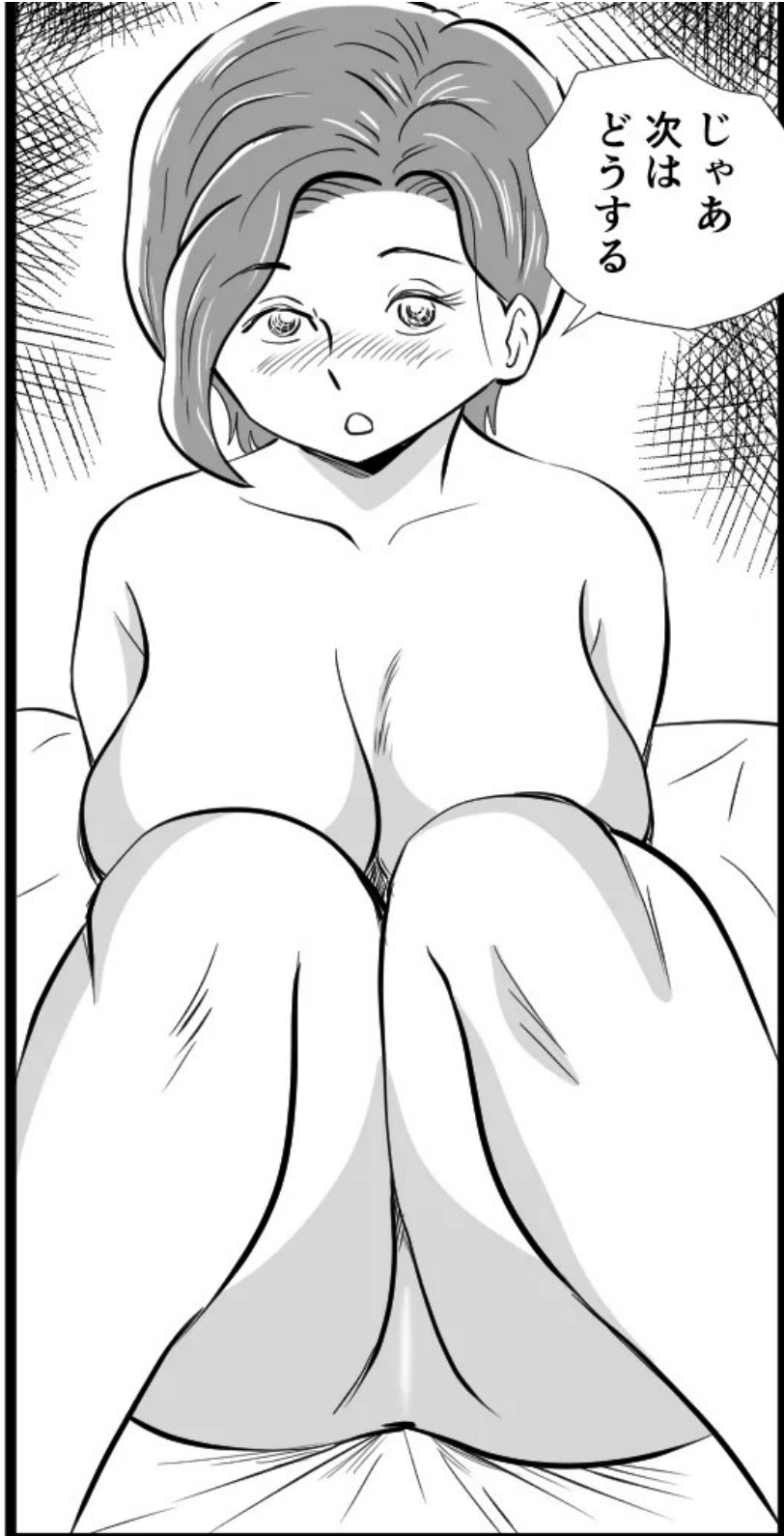


春太郎のって
はちきれ
そうなぐらい
硬そう

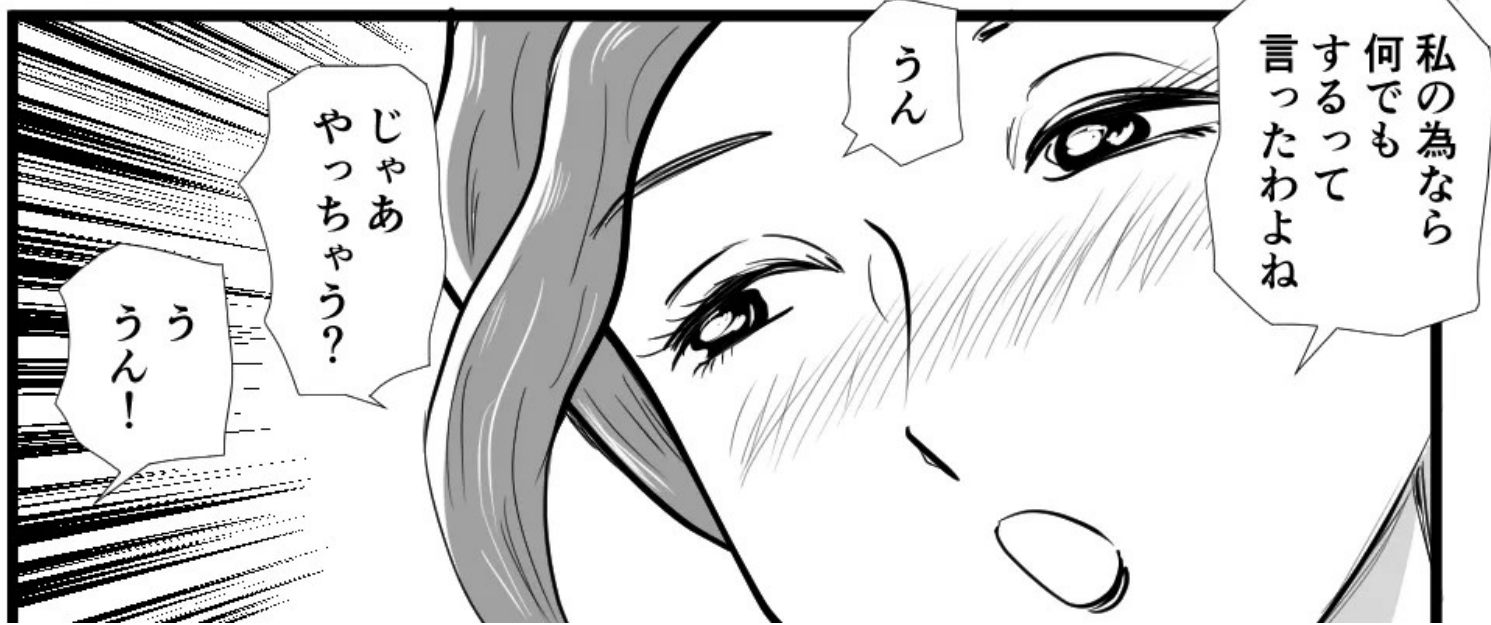








じゃあ
次は
どうする



私の為なら
何でも
するって
言ったわよね

うん

じゃあ
やっちゃおう？

う
うん！



ずず

挿れさせて
もらった



ずっ

と
いうことで











金玉が
無くなるんじや
ないかと
思うほど
射精した



全部
母さんの穴に
放出



母さんの穴は
それを
全部受け止めて
くれた

そして
そのまま
もう一回

あーっ

あーっ

びびー
びびー

中に
出した

その日を境に
母さんの表情は
大きく変わった

お勉強
はかどってる？

うん

あんまり
根を詰めて
やっちゃだめよ

じゃあ
そろそろ
気分転換
しようか

そ
うだね

毎日
こんな感じで
俺を
抱きしめてくれる
ようになった





親父は
相変わらず
出張の連続で
家には
戻ってこない

あっ

あ

いまでは毎日
笑顔と
恍惚な表情の
母さんを
拝めることが
できるよう
になった

以前の
母さんの怒り顔が
嘘のようだ

殴られて
蹴られるのを
耐えた
価値は
あったなあ

おしまい

んっ
ビクッ
ぶろんっ

たぶんっ

はんっ
ちんっ
はんっ

はあ

はあ
はあ

お買い上げありがとうございます



見て見て

凄いでしょ

私って
身体が
柔らかいんだよ

このまま
挿入
してみる？

かほっ

もちろん
挿入して
激しく
突きまくりました